

フレックスドリル工法

～掘削機アタッチメント式非開削工法の開発～

京葉ガス・不二公業・東京産業・フレックスドリル社の共同開発

高級舗装の道路横断や一般道路部分の新設工事など、概ね 30m～40m程度の中距離をターゲットとした非開削工法。本体を掘削機にアタッチメントとして取り付け可能なため、施工性が高く、省スペースで施工可能。

主要構成部品



本体



給水ポンプ



ロッド



バックリーマー

工法概要

フレックスドリル工法は、先端より水を噴射させながらロッドを推進させ、到達立坑到着後、バックリーマーと引き込み配管を取付け、配管を引き込む工法。主な作業方法は以下の通り。

作業	内容	写真
<ul style="list-style-type: none">機械のセット フレックスドリル本体 アースなど 反力サポートセット 発信機・受信機の準備	フレックスドリル本体を 発進位置にセットし、反力サポ ートをセットする。 安全の為のアースなど取付け。 ロッドヘッドの発信機と受信機を 準備する。	
<ul style="list-style-type: none">ロッドの推進作業 ロッドヘッドから水の噴射 ロッドの押し込み ロッドの継ぎ足しロッドの位置確認 受信機で位置を確認	ロッド先端より水を噴射させなが らロッドを回転させ、ロッドを押 し込む。ロッドを継ぎ足しながら 推進作業を行う。 受信機でロッドヘッド位置を調 査。	
<ul style="list-style-type: none">バックリーマー配管取付け 配管引き込み準備 バックリーマー取付け 配管取付け	ロッド到達後、配管引き込みの準 備を行う。 バックリーマーを取付ける。 トーイングヘッドを用いて ポリエチレン配管を取付ける。	
<ul style="list-style-type: none">配管引き込み作業 バックリーマーから水の噴射 ロッドの引き込み ロッドの回収	バックリーマーから水を噴射させ ながら、配管を引き込む。 ロッドを回収しながら引き込み作 業を行う。	